

2026年2月14日

ハードルパート活動報告

今期のハードルパートキャプテンを務めております、長井颯馬と申します。日頃より学友会陸上競技部を温かく支えてくださるOBOGの皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまのご支援や励ましが、私たちの活動の大きな原動力となっております。今年度のハードルパートの活動状況についてご報告させていただきます。

今シーズンは、序盤こそ私を含め怪我人が相次ぎ、思うように波に乗れない時期が続きました。しかし、選手一人ひとりが粘り強く練習に励んだ結果、7月の七大戦では男女計5名が決勝進出を果たすことができました。男子110mHでは長井(2)が自己ベストとなる14秒62をマークして準優勝し、男子400mHでも前パートキャプテンの水澤(3)が執念の走りで得点をもぎ取るなど、パート一丸となって計7点を獲得いたしました。来年度は、出場選手全員の決勝進出を目標に掲げております。

現在は来シーズンに向け、部員全員が日々厳しいトレーニングに励んでおります。これからも結果で恩返しができるよう一層精進してまいりますので、引き続きハードルパートへの温かい応援をよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、OBOGの皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、活動報告とさせていただきます。